

An aerial photograph of Mount Fuji, Japan, showing the snow-capped peak and surrounding mountain ranges. In the foreground, a dense urban area is visible, with a river winding through it. The sky is clear and blue.

資料2

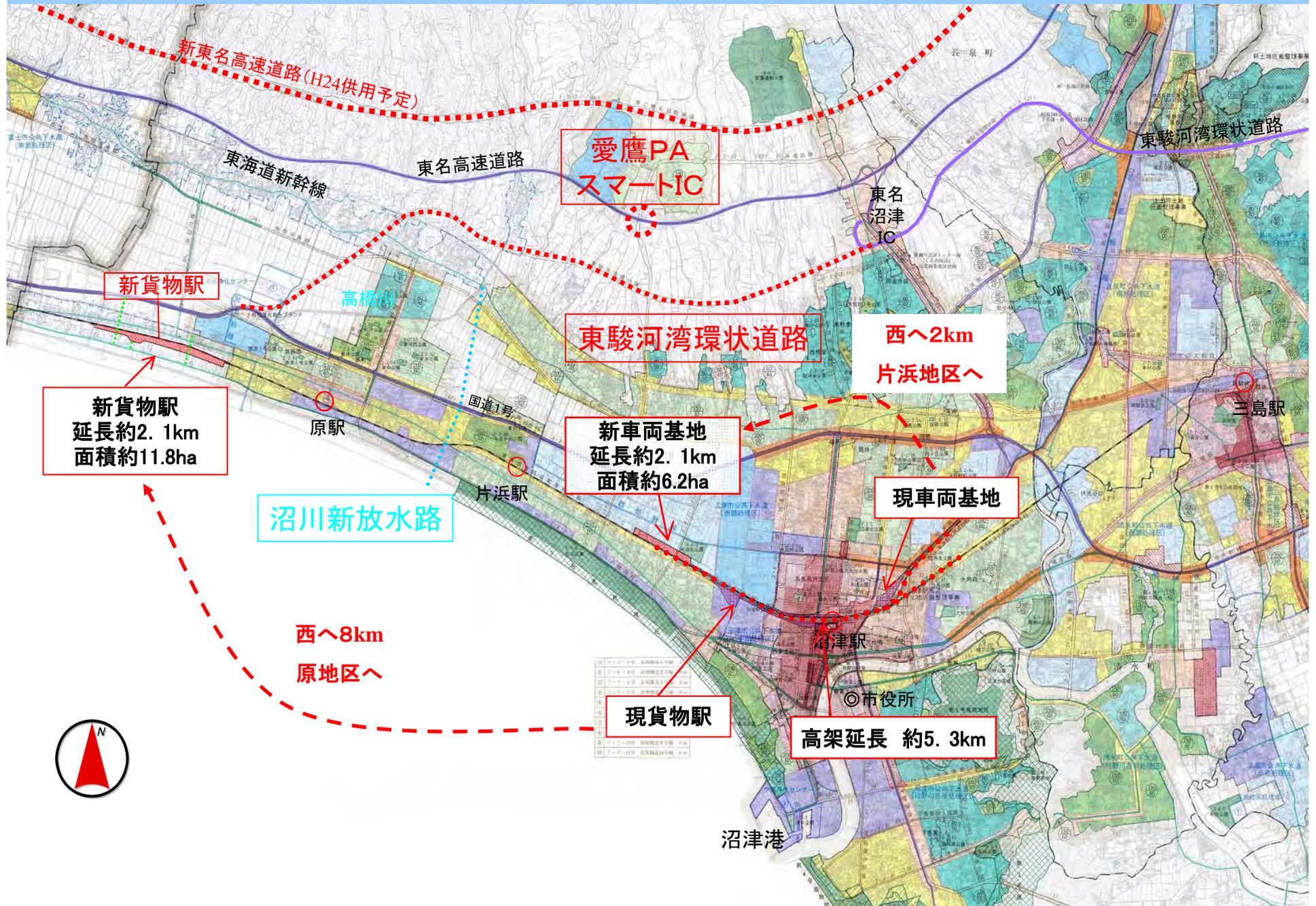
(仮称)沼津駅付近鉄道高架事業に関するP I委員会

平成 23 年 11 月
静岡県交通基盤部

1. 事業概要
2. 事業経緯
3. 有識者会議
4. 推進方針

1. 事業概要
2. 事業経緯
3. 有識者会議
4. 推進方針

1. 事業概要／位置図



1. 事業概要／地域の概要

- 沼津市は、歴史的、地理的に県東部地域の拠点都市の役割を担ってきた
- しかしながら、周辺市町の都市化も進む中、沼津市の拠点性や魅力は低下しつつある

項目	沼津市の状況
交通基盤	東名高速道路・新東名高速道路のIC、伊豆縦貫道の起点 国道1号・246号・414号の結節点 JR沼津駅（東海道本線・御殿場線の結節点）
人口	208,005人（H17）（浜松市、静岡市、富士市に次ぐ県内4位、東部地域人口の4分の1を有する）
銀行事業所	32（H18）（静岡市、浜松市に次いで県内3位）
事業所	12,328（H18）（静岡市、浜松市、富士市に次いで県内4位）
高等学校数	11校(東部地域全体45校、富士市6校、三島市4校)
（生徒数）	8,489人、生徒数/人口=4.1%（全国2.6%、全県2.7%）（H21）
昼夜間比率	108.1%（H17）（三島市が96.3%、富士市が101.1%であり東部地域の周辺市町村と比較して高い水準）

1. 事業概要／交通の状況

■中心市街地を南北に横断する道路は、3つのガードであるが、それぞれ多くの交通課題を抱えている



急カーブによる交通事故

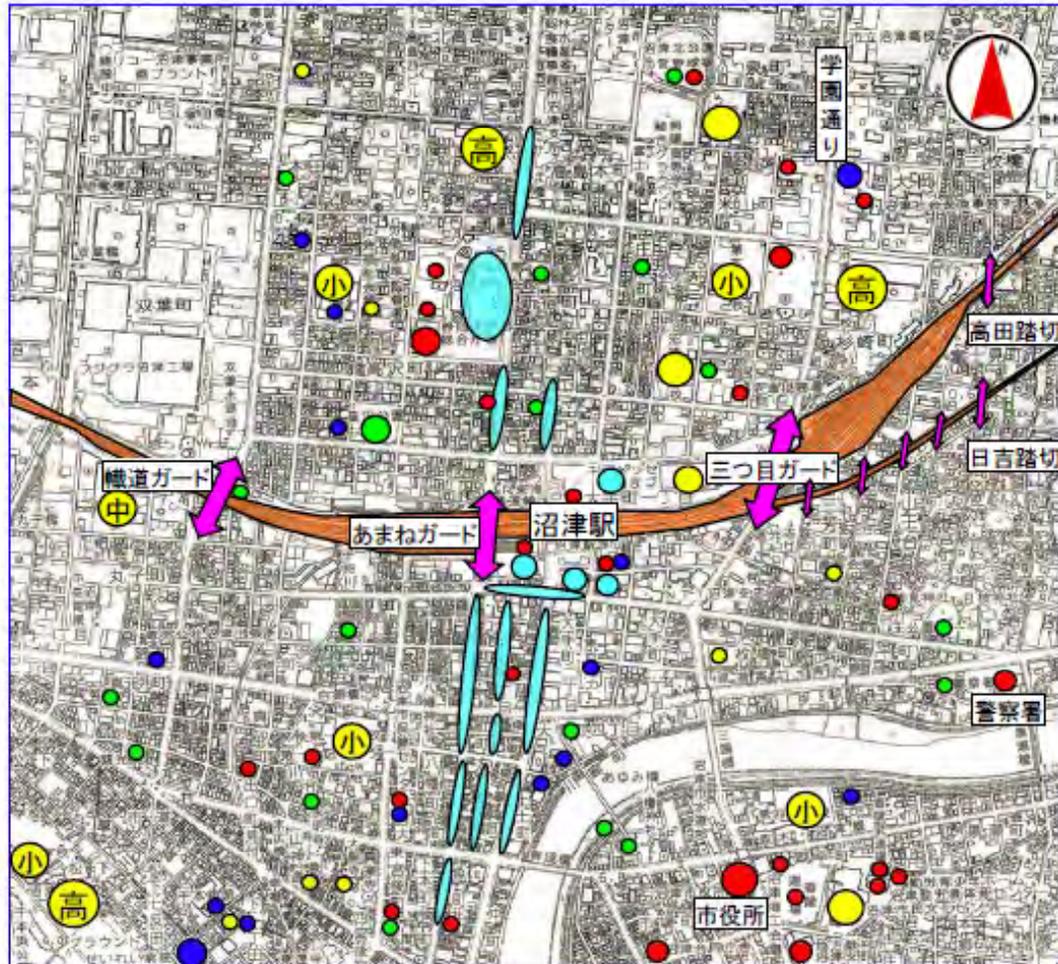


いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

1. 地域の概要／都心部の状況

■ 沼津市の商業、教育、医療、公共施設は駅を挟んで南北に広がっているが、市街地は鉄道線路によって南北に分断され、歩行者・自動車の各施設への円滑な移動が妨げられている状況にある

【沼津駅周辺南北市街地の分断状況】



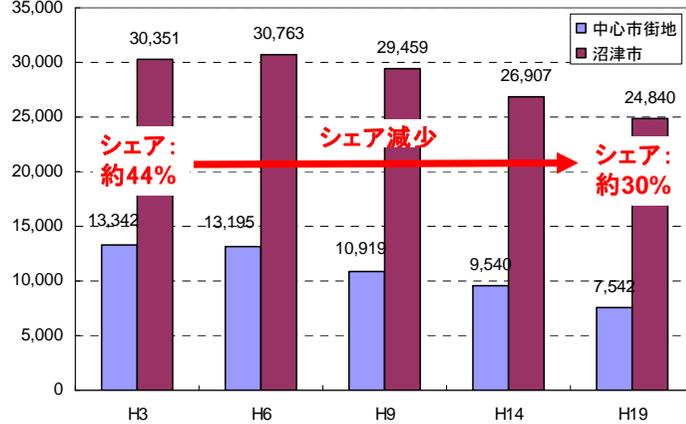
- 凡例
- ↔ 鉄道横断可能箇所
 - 医療・福祉施設
 - 公園・緑地等
 - 公共・公益施設
 - 教育・文化施設
 - ショッピングセンター
 - 商店街

1. 地域の概要／都心部の状況

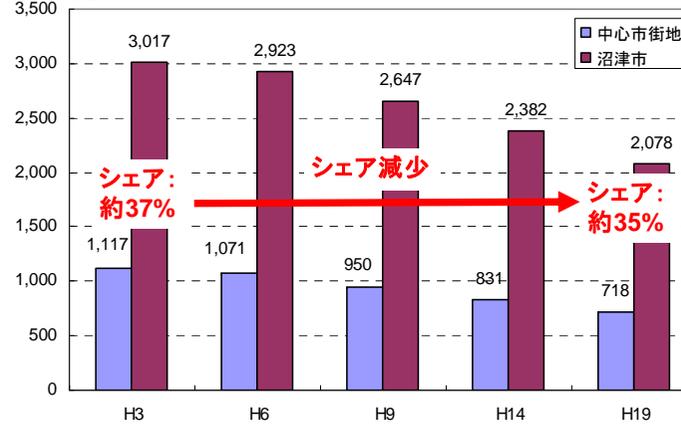
■沼津市の都心部では、商店の販売額や商店数の減少傾向が続き、空き店舗が急激に増加しているのが現状である。まちなかの歩行者交通量も減少傾向にあり、中心市街地の活力低下が課題となっている

【沼津市中心市街地の商業販売額、店舗数の推移】

【商業販売額(千万円)】

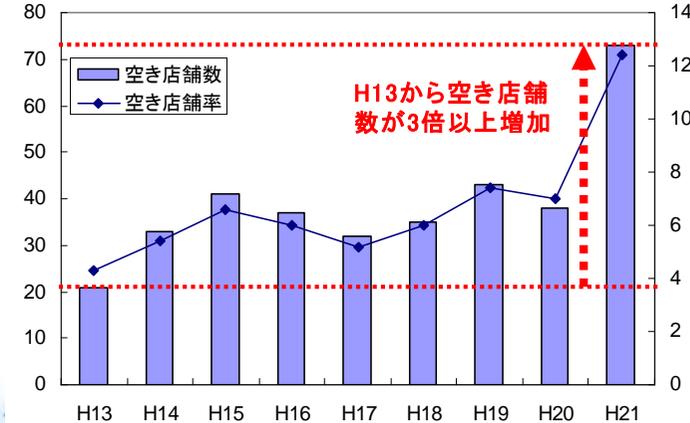


【店舗数】

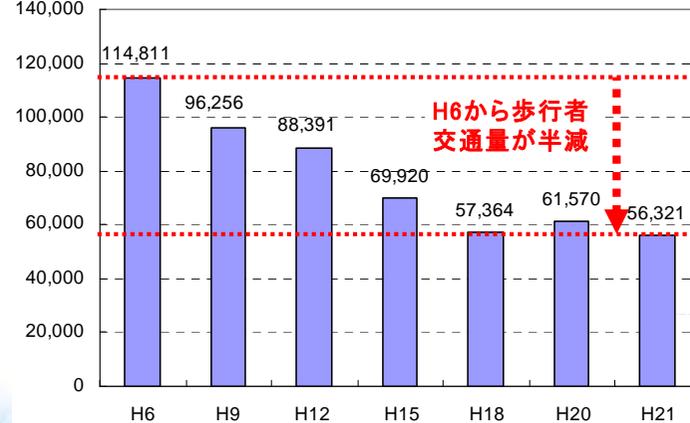


【沼津市中心市街地の空き店舗数、空き店舗率、歩行者数の推移】

【店舗数】

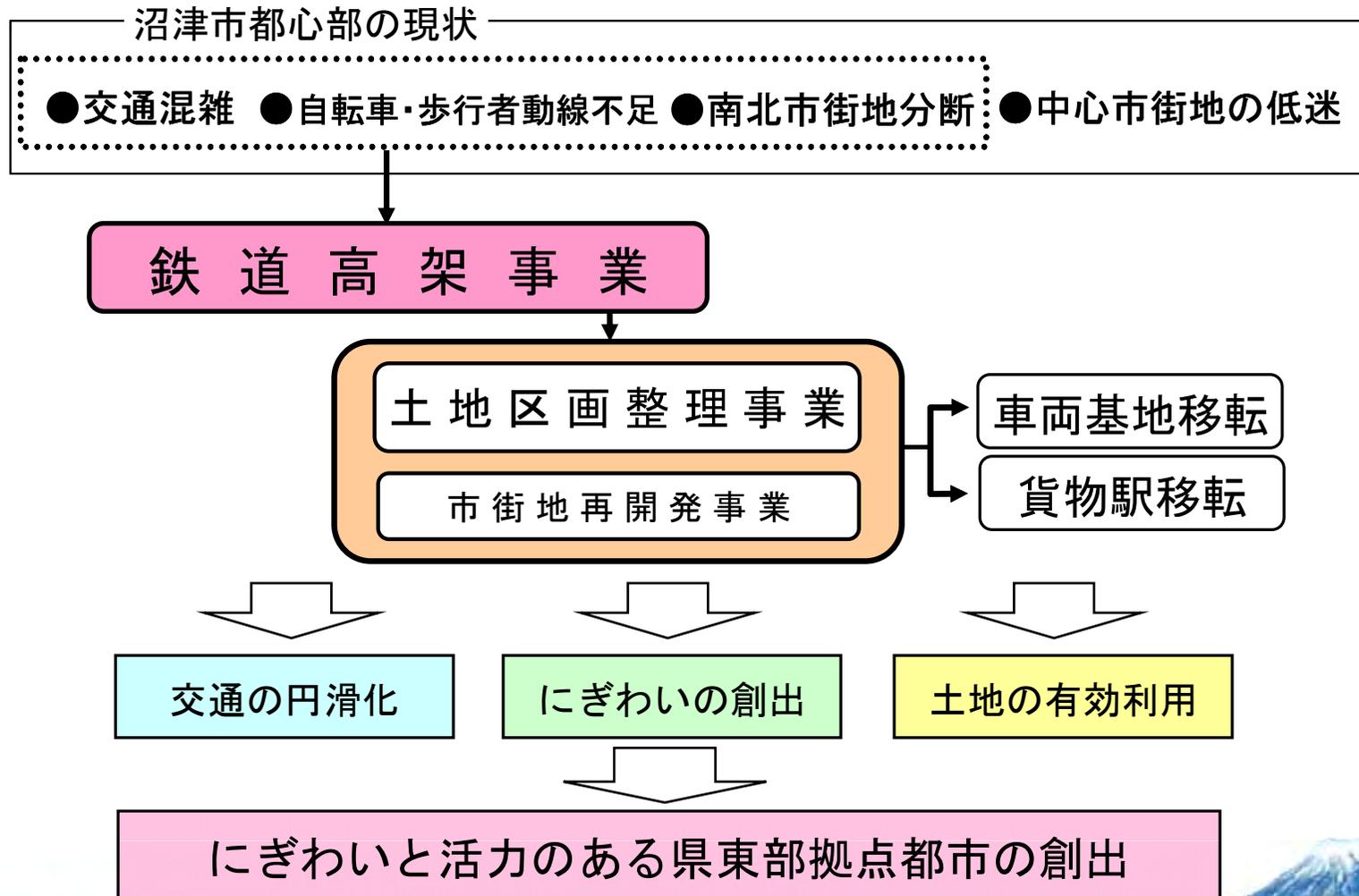


【歩行者数】



2. 沼津駅付近鉄道高架事業の概要／事業概要

■鉄道高架事業は、土地区画整理事業等の駅周辺整備と一体的に実施することで、積年の課題を解消し、新たな都心を創造する



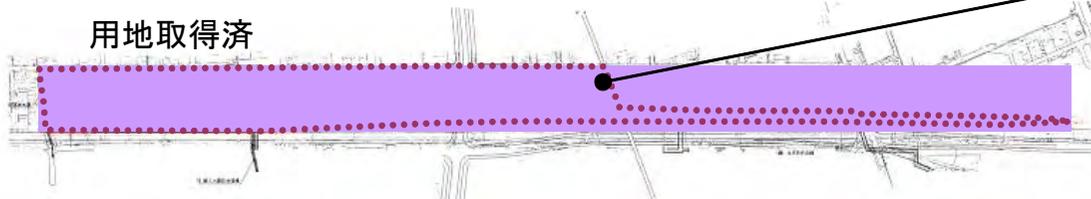
2. 沼津駅付近鉄道高架事業の概要／関連事業

No.10

【沼津駅周辺総合整備事業、事業進捗率(H22末)】

新車両基地(片浜地区)

用地取得済



東部コンベンションセンター



静岡東部拠点第二地区

事業中 6%

東部コンベンションセンター

事業中

H25夏 展示イベント施設完成

H26夏 会議施設完成

静岡東部拠点第一地区

事業中 84%

H24工事完了予定

沼津駅南第二地区

未着手 0%

沼津駅南第一地区

事業中 40%

市街地再開発事業

H19完成

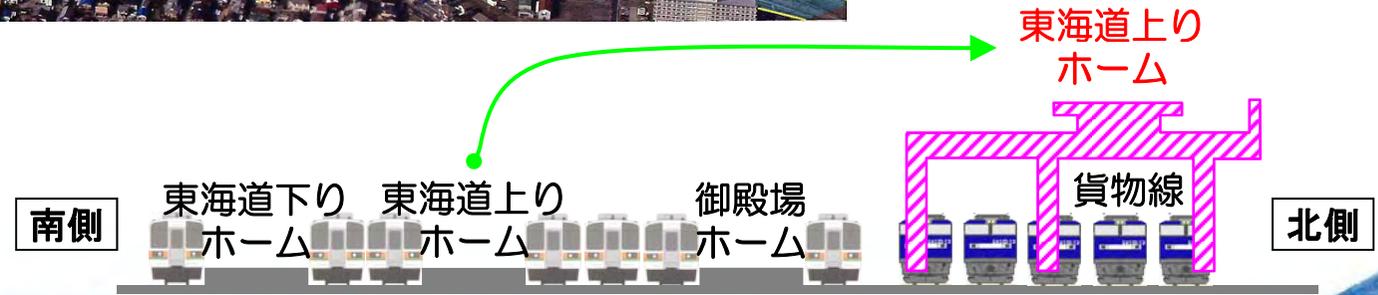
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

2. 沼津駅付近鉄道高架事業の概要／施工手順



- 現貨物駅は、東海道本線を南北から挟み込んだ形状
- 鉄道高架工事は、この現貨物駅を利用し、北側から順次施工する計画
- そのため、現貨物駅がそのままある限り、高架化や都市改造が出来ない状況



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

1. 事業概要
- 2. 事業経緯**
3. 有識者会議
4. 推進方針

2. 事業経緯

□ 調査委員会発足

1985年(S60)	沼津市都心地区総合整備計画調査委員会(市調査)発足
1987年(S62)	国鉄民営化
1991年(H3)	静岡県、鉄道高架化調査開始

□ 限度額立体交差事業採択

1994年(H6)	駅周辺土地区画整理事業、国道414号他、11路線の都市計画決定
1994年(H6)	限度額立体交差事業の国庫補助事業採択(調査費)
1995年(H7)	阪神・淡路大震災発生
2000年(H12)	JR東海、JR貨物と都市計画決定に関する協議が整う
2000年(H12)	国の公共事業見直しによる国庫補助中止(計画見直し作業に着手)

□ 連続立体交差事業採択

2003年(H15)	見直した計画により鉄道高架事業の都市計画決定
2003年(H15)	連続立体交差事業の国庫補助事業採択(新規着工準備採択)
2003年(H15)	新車両基地の用地取得に係る事業認可(市施行)
2004年(H16)	新貨物駅の用地取得に係る事業認可(市施行)
2006年(H18)	都市高速鉄道の事業認可(県施行)

□ 近年の状況

2004年(H16)～	貨物駅移転先用地買収の着手
2008年(H20)12月	栗原市長と貨物駅地権者との話し合い
2010年(H22)1月	川勝知事と市民との意見交換会(沼津市原 松蔭寺)
2010年(H22)9月	沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議の設置
2011年(H23)6月	有識者会議報告書公表
2011年(H23)6月	県の推進方針公表
2011年(H23)8月	有識者会議報告書及び推進方針 地元説明会の開催
2011年(H23)9月	PI委員選考委員会の開催
2011年(H23)11月	県事業評価監視委員会 意見具申